

よむ

News from
Inabe City
Council

No.86

ギカイ

いなべ市議会だより／令和7年／6月定例会

一般財団法人いなべ市観光協会主催
第8回いなべ市観光写真コンテスト作品
「お散歩日和」 鈴木陵太さん

- P2～ 定例会のようす
- P6～ 一般質問
- P12 令和6年度政務活動費の報告
- P14 議会報告会のようす
- P15 表紙写真の募集
- P16 クイズ

新議長・副議長が就任しました

6月定例会の開会日（令和7年6月5日）に議長・副議長の選挙を行い、議長に清水隆弘氏、副議長に衣笠民子氏を選出しました。新しい正副議長のもと、いなべ市議会はさらなる発展を目指します。



議長 しみず たかひろ
清水 隆弘



副議長 きぬがさ たみこ
衣笠 民子

議長就任あいさつ

このたび新たに第19代いなべ市議会議長に就任することになりました。身に余る光栄と感謝いたしますとともに、その重責に身が引き締まる思いであります。

もとより微力ではございますが、歴代議長並びに議員各位のご尽力によって築いてこられた、いなべ市議会の良き伝統を継承し、いなべ市議会基本条例に明記されているとおり、議員間で公平かつ適正な議論を尽くすとともに、議決責任を強く認識し、真の地方自治の実現を目指すため、議長として公平で公正な議会運営を行います。市民の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

6月定例会

（6月5日～6月27日）

補正予算や条例の制定などを含む8案件を審議

議案第36号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算(第1号)

全会一致で
可決

水素エネルギー活用促進事業（燃料電池車普及購入補助事業）…………… 60万円

燃料電池車購入補助金1台当たり40万円(市20万円+県20万円)

市が実施する燃料電池車購入補助金1台当たり20万円に同額20万円を県が上乗せして補助する

人生100年時代づくり・地域創生ソフト交付金事業…………… 300万円

包括的な介護予防施策の展開と社会システムの構築を目的とした「いなべ幸齢地域づくりプロジェクト推進事業」に取り組むための地域課題を抽出するためにデータ分析を実施する

質疑 Q どのようなことをしようと考えているのか。

A 介護予防教室等の通いの場での参加者データ、健康測定の結果、医療費データ等を用い、データ分析の基盤を構築し、ハイリスク者の抽出や地域課題の把握に活用する。

山辺を核とした自立的観光振興事業…………… 7,700万円

グランピング施設、拠点棟及びツーリズム事業の一体的な運用体制を構築するために、宿泊及び体験の予約、観光情報の取得、宿泊及びキャンプ場の利用の受付並びに無人販売所の管理が一括して可能となるプラットフォームを導入する。また、レストラン什器等も購入する

質疑 Q 民間の事業者や企業が参入するプラットフォームになるのか。

A 市内の観光施設や地域の事業者の利用を視野に入れている。

議案第38号 工事請負契約の締結について(阿下喜小学校長寿命化改修工事)

全会一致で
可決

校舎及び屋内運動場の長寿命化改修を行い、並びに校舎のバリアフリー化及び屋内運動場の空調設備を設置しようとするもの



質疑

Q なぜ建て替えではなく改修となったのか。

A 工事費用を削減できる、工事期間を短縮できる、廃棄物が少なくて済む、ということで改修となった。

Q 今回の改修工事により、何年くらい延命できるのか。

A 改修後、最低でも20年以上は利用できる。

議案第39号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算(第2号)

賛成多数で
可決

グリーン・ツーリズム推進地区生きがい増進事業…………… 3,000万円

山辺を訪れる来訪者を関係人口につなげることで、未活用の里山資源の活用、人口減少に伴う人材の不足といった地域課題の解決に取り組むための補助事業

事業概要

- ①梅林公園の梅を使った商品開発への取り組み
- ②地域内でハーブ栽培体制を構築し、山辺での飲食やサウナ等で利用することで地域経済と生きがいを創出する取り組み
- ③上記商品やサービスの提供に加え、生産拠点を回遊する形での地域内ツアーを造成する取り組み
- ④事務効率化AIシステムの導入

質疑

Q ハーブをサウナで利用するということだが、サウナはどこかに新しく造るのか。

A 企業版ふるさと納税による寄附も考えながら、設置については今後検討していきたい。

Q 地域で栽培するハーブ等とは、ハーブ以外に何があるのか。

A サウナに合う植物や、匂いがきつく、獣害を受けにくい植物を検討している。

Q 事務効率化AIシステムはどこに設置するのか。

A 梅林公園の拠点棟と考えている。



★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 清水隆弘議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

会派			いなべ未来					新風いなべ			創風会		新生つばさ			いなべ市議団	日本共産党	無会派		
議案名	付託委員会	審議結果	寺輪博樹	小川幹則	岡英昭	位田まさ子	林正男	多湖公	出口日佐男	片山秀樹	小寺徹翁	伊藤智子	清水隆弘	伊藤三保	原田敬司	渡辺一弘	岡恒和	衣笠民子	篠原史紀	西井真理子
議案第39号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算 (第2号)	予	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	－	○	○	○	●	●	○	●

(付託委員会／予：予算決算常任委員会)

6月定例会のようす

一般質問

お知らせ

クイズ



本会議において「賛成」「反対」の討論があったもの

議案第39号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算(第2号) グリーン・ツーリズム推進地区生きがい増進事業

賛成多数で
可決

岡 恒和

地域住民の議論や合意が欠けている

本事業計画は、総務省「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の募集にかかる補足説明」に反している。説明では住民主導性として①地域住民自らが主体的に参画して企画・立案する取り組みであるか②地域住民が主体の実施体制となっているかを問うているが、地域住民との話し合いすら行われていない。さらに Q&A では事業計画に関し「住民の議論及び合意を踏まえていることが前提」とされているがクリアできていない。



出口日佐男

地域資源を活かした持続可能な観光振興策だ

本事業は、総務省の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業を活用し、ほぼ100%国の財源で行うものである。

いなべ市が抱える大きな課題である人口減少や、高齢化に伴う地域経済の衰退、担い手不足を解消すべく、梅林公園や山辺の自然環境を活かし、ハーブの栽培や摘み取り体験、商品開発、さらには地域ツアーやサウナなどの体験型観光を組み合わせることで、観光と交流人口の増加を図ろうとするこの取り組みを大きく評価する。

6月定例会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等

議案第32号	いなべ市税条例の一部を改正する条例の制定について 法改正により、*公示送達をインターネットを利用する方法により閲覧可能とすること、特定親族特別控除の創設がなされたこと等所要の規定を整備するため改正 ※公示送達とは、市役所の掲示場に一定期間公示することにより、その期間が経過したときには書類が送達されたものとみなす制度
議案第33号	いなべ市職員の育児休業等に関する条例及びいなべ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 法改正により、部分休業制度の拡充及び仕事と育児の両立支援制度が強化されることに伴い改正
議案第34号	いなべ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 法改正により、保育内容支援及び代替保育に係る連携施設確保が困難な場合の要件緩和並びに経過措置が延長されることに伴い改正
議案第35号	いなべ市水道の布設工事及び布設工事監督者の資格並びに水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について 法改正により、市条例で引用する条が繰り下げられたため改正
議案第36号	令和7年度いなべ市一般会計補正予算(第1号)
議案第37号	令和7年度いなべ市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第38号	工事請負契約の締結について(阿下喜小学校長寿命化改修工事) 校舎及び屋内運動場の長寿命化改修等を行おうとするもの

市民の皆さまに身近で特に関心があると思われる 議案について、ご意見を募集しました



詳しくはホームページをご覧ください

人生100年時代づくり・地域創生ソフト交付金事業について

- これからの課題として大事な事だと思います。
- 健康データを収集して分析し、「それをどう活用できるのか?」「どういうメリットがあるのか?」の説明まで欲しい。市民にとっては、その情報が重要です。

山辺を核とした自立的観光振興事業について

- 観光に関する取り組みは、もう十分です。市民の日常生活に関することにお金をかけて欲しいです。若い母親達は言います。気軽に行ける公園があったらいいなと。また、道路の両側が草ぼうぼうになっていたり、白線や横断歩道が消えかかっていると寂れた感じがします。日常生活に満足できれば、自ずと人は寄ってきます。どうか観光という、市民以外に目を向けた取り組みを卒業してください。
- この予算を投入することで市民にとってどんなメリットがあるのか?を具体的に説明してください。これを導入することによってどんな展望が見込めるのか?市民にとっていちばんの関心ごとはそこだと思います。運営そのものに関しても見通しや責任の所在をはっきりしてもらいたいものです。それにしても7,700万円とは、あまりにも金額が大きい気がします。

※ご意見は紙面の都合上、編集しています

第2回 臨時会のようす (令和7年4月15日)

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 小川幹則議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

会派			いなべ未来				新風いなべ				創風会		新生つばさ		いなべ市議団	日本共産党	無会派			
議案名	付託委員会	審議結果	寺輪博樹	小川幹則	岡英昭	位田まさ子	林正男	多湖公	篠原史紀	出口日佐男	片山秀樹	小寺徹翁	伊藤智子	清水隆弘	伊藤三保	原田敬司	渡辺一弘	岡恒和	衣笠民子	西井真理子
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて(いなべ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承認	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

臨時会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(いなべ市税条例の一部を改正する条例)
法律の一部改正により、条例改正を専決処分したので、承認を得ようとするもの

議案第31号 財産の取得について(公立学校タブレット端末購入)
国の公立学校情報機器整備事業費補助金を活用し、市内小中学校の児童、生徒及び教職員が使用するタブレット端末を購入しようとするもの

一般質問

市民の
声を届ける

一般質問は市政全般に対して質問を行います。一般質問の内容についての記事は各議員の責任において要約し、掲載しています。

11議員が登壇

質問通告項目は以下のとおりです。

岡 英昭	P6
1 新年度に於ける教育の諸課題について	
2 企業進出に関わり	
位田まさ子	P7
1 子どもの居場所づくりについて	
2 高齢者の生きがいづくり	
出口日佐男	P7
1 ひとり親家庭等への支援制度の拡充	
2 地域おこし協力隊リユース事業の進捗と継続性について	
多湖 公	P8
1 道路上の視認性・安全性を確保するための雑木等の伐採対応について	
2 地域経済への波及と観光施策の深化について	
片山 秀樹	P8
1 東海環状自動車道のトンネル工事に伴う地域への影響と今後の見通しについて	
2 太陽光発電事業に関するトラブルと今後の市の対応方針について	
3 農業の後継者問題と地域農業の持続可能性について	
原田 敬司	P9
1 定住・移住・交流の促進を	
2 高齢者の生活支援サービスの充実を	
伊藤 三保	P9
1 健やかで安心できる社会の実現を	
2 子どもが輝く未来の学校目指して	
渡辺 一弘	P10
1 いなべ市のスポーツ施設について	
2 市内道路の維持管理について	
伊藤 智子	P10
1 いなべ市の豊かな森林を活用したまちづくり	
岡 恒和	P11
1 豪雨による土砂災害防止対策等について問う	
2 高齢者の現状と課題について問う	
西井真理子	P11
1 若者、子育て世帯に選ばれる『いなべ市』への取組みを	



←動画配信
サイトへ

いなべ未来
おか
岡

ひで
英

あき
昭

市内小学校児童生徒数の最大校は

答／最大小学校は員弁東と三里の2校

Q 市内小中学校の児童生徒数で最大校と最小校は。

A 最大は員弁東小・三里小で288人。大安中16学級415人。最小は丹生川小で85人。藤原中9学級124人。

Q 昨年度から始まった中学校部活動の地域移行の進捗状況は。

A 学校と指導員の活動状況の共有を図り、指導者研修なども行い剣道部、陸上部、ソフトボール部の3種目で進めている。

Q 令和8年9月から全41部の活動を開始し、地域移行を完了できるのか。

A アンケートの実施、中学入学説明会でモデル事業の説明、指導員募集、加入部員の名簿作成、指導員研修等を実施し円滑に完了したい。

Q 中学生のオーストラリア派遣事業は、東南アジアなど近隣国にすれば、同額予算で2倍以上の生徒を派遣できるが、変更する考えは。

A 30年の実績があり信頼感がある。治安の良い所で国際感覚が養え、変更しない。

企業進出に関わり

Q 進出企業の概要は。

A 北勢町鼓地区にウチダ株式会社。タイヤホイール、住宅建築資材など製造。5工場目で令和10年7月操業予定。地元優先で50名雇用。大安町石樽南の前林工業団地に旭金属株式会社。自動車ボディ等供給。本社移転とともに数十名を増員。

Q 誘致計画は。

A 企業条件に寄り添えるオーダーメイド方式と並行して坂本・本郷地区に用地のストックなど準備を進める。



進出企業の予定地となる前林工業団地



子どもの居場所づくりについて

答／旧大安庁舎を活用し居場所を創る

Q 雨の日も安心して遊べる子どもの居場所が必要。施設整備の構想と方針は。

A 市民からの意見を踏まえ、安全で快適に過ごせる全天候型の室内遊び場として、子育て支援拠点複合施設の整備について副市長を委員長とした検討委員会を立ち上げ、慎重に検討を進めている。公共施設の活用や子どもたちの自然体験エリアとしての役割を考慮し、建設場所は旧大安庁舎を活用する。

Q 副市長の思いは。

A 市民の意見を聞きながら、子どもが集い、遊べる、学べる空間をつくれるよう一生懸命努めたい。

Q 子どもの年齢の範囲と財源は。

A 0歳から30歳位を想定。財源は地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用する。



旧大安庁舎

高齢者の生きがいづくり

Q フレイル予防の取り組みは。

A フレイルチェック表を作成し、判定結果から介護予防教室につなげている。結果が心配な人には、保健師や栄養士が訪問している。

Q シルバー人材センターの登録会員増加のため、一人親方の募集を積極的に行っては。

A 登録会員の募集とともに利用者の増加を図るために業務内容の拡充に取り組んでいる。

Q 老人会・自治会活動へ積極的に参加をすることで健康寿命が12%伸びると、医学界でいわれるが信じるか。

A その通りだと思う。



ひとり親家庭への支援制度の拡充

答／利用者の声を踏まえ見直しを行う

Q 制度改正後、支援対象家庭に対する影響を、市はどのように分析しているか。

A 制度改正により、子どもの節目における費用負担が軽減されたことは、対象家庭にとって大きな支援になっていると判断する。

Q 子どもの成長段階や家庭の実情に応じた支援が行えるよう、今後見直しを検討する考えはあるか。

A 制度の運用状況を定期的に検証し、利用者の実際の声を踏まえながら、支援策の適正な見直しを行っていく。

Q 祖父母が孫の主たる養育者となっている家庭の把握は行っているか。

A 各種相談窓口を通じて、把握に努めている。

Q このような家庭が支援制度の枠組みから漏れないような対策は。

A 関係部署との連携を図り、より一層柔軟に対応していきたい。さらにこのような家庭の実態を詳しく把握しながら情報提供を充実させ、適切な支援を受けられる環境づくりに努めていく。

地域おこし協力隊リユース事業の進捗と継続性について

Q 本市では※3Rによって、ごみの削減を積極的に進めているが、どの程度リユースされているのか。

A これまで20人に45品目を譲った。

Q 見えてきた課題や問題点は。

A 今のところない。

Q 継続可否の判断としての鍵は。

A 目標達成度、地域貢献度、地域との連携協力度合い、自主活動能力、市との連携協力、活動姿勢を総合的に判断して、継続可否を決定する。



地域おこし協力隊 活動領域マップ

※3R…リユース(Reuse)…繰り返し使おう、再利用しよう
リサイクル(Recycle)…資源として活かそう
リデュース(Reduce)…ごみを減らそう



道路沿いの雑木伐採対応は

答／通報や要望後当日か翌日伐採実施

Q 市はカーブミラーや道路標識の視認性が雑木等によって妨げられている箇所を把握しているか。また、それに対する点検・対応の体制はどうなっているのか。

A カーブミラーや道路標識の視認性の把握は、日々の巡視や自治会からの通報・要望により対応し、道路パトロール及び建設課職員により当日か翌日には伐採している。

Q 現在、自治会に対してクレーンなどの機材レンタル費用について補助金が出されているが、それを活用できない地域に対して支援・指導していることは。

A 地域に重機オペレーターの資格を持つ人がいない自治会や個人に対しては、令和6年度から伐採にかかる費用の30%、120,000円を上限として交付する事業費補助金制度を創設し支援している。



カーブミラーに覆ってきている雑木

地域経済への波及と観光施策の深化の施策は

Q 地元事業者や飲食業などへの波及効果はどのように測定しているか。今後、観光と地元経済との連携を強化するための施策は考えているか。

A 市単独での経済波及効果の測定は難しく、にぎわいの森を拠点とした経済波及効果の測定のみとなる。今後、観光パンフレットや観光協会が発行する「うまいもん処」などのパンフレットの活用により観光と地元経済の接点を強化したいと考えている。



東海環状自動車道工事に伴う影響

答／調整池設置と排水ポンプで対策

Q 東海環状自動車道のトンネルの工事により大量の地下水が流出している。3月末より下平地区の井戸水が枯れているが原因調査はしているか。

A 北勢国道事務所及び中日本高速道路株式会社とも情報共有はしているが、令和7年1月から3月にかけての記録的な雨量不足が原因と考えていて調査はしていない。

Q 井戸水は枯れたままの箇所が2カ所はある。住民の感情として何とかならないかという気持ちがある。原因調査はしないのか。

A 今後の状況を確認しながら、北勢国道事務所と中日本高速道路株式会社と協議していく。

Q 水田へ水が入らないのでポンプアップしているが、支援策は考えているか。

A 原因不明なので、支援はない。

Q 田への盛土砂流入や家屋への浸水被害対策について、新たな調整池の設置で今後の大雨にも対応可能と考えているか。

A 北勢国道事務所と中日本高速道路株式会社による雨水対策の調整池の設置だけでは大雨に対応可能とは言い切れない。大雨時には排水ポンプ等を使用し対応する。

Q 東海環状自動車道の完成見通しは。

A 東海環状自動車道のトンネル工事で毎時400トンの湧水量が発生しており、1日5メートルの掘削予定が3メートルしか出来ないため、現時点では開通見通しを公表出来る状況ではない。



400トン／時の湧水のため、開通見通しを公表出来ない東海環状自動車道のトンネル



いなべ市の社会動態は

答／総数では 127 件の増加

Q 自然動態による人口は減少の一途をたどっている中、社会動態については過去 3 年を見ると微増に転じている。このうち 10 代 20 代 30 代の転入転出の直近の状況はどうか。

A 令和 6 年度中の総転入件数は 2,446 人、うち 10 代は 271 人、20 代は 962 人、30 代は 547 人。また総転出者数は 2,319 人、うち 10 代が 189 人、20 代が 995 人、30 代が 522 人。転入転出者数の増減は総合総数では 127 件の増加。年齢ごとでは 10 代では 82 人の増加、20 代では 33 人の減少、30 代では 25 人の増加。

Q 通勤通学の不便さを理由に近隣自治体に流出している人口への対策は。

A 通学の不便さ等は、若年層を中心とした人口流出の要因と成り得るとも考えられる。第 3 次いなべ市総合計画基本構想でも示しているが、電車やバスなどの公共交通における市民ニーズは、継続して高くなっている。令和 7 年度、いなべ市の交通の現状と課題の把握し、デマンド交通の検討を視野に入れた調査を実施する。子どもから高齢者まで、市民がより便利に移動できるデマンド交通など、新たな移動手段の導入も検討したい。



健やかで安心できる社会の実現を

答／子育てしやすい環境づくりに努める

Q 公共施設において赤ちゃんにミルクをあげることができる授乳室の設置がすすんでいるが、授乳室で母乳の搾乳ができることは一般の理解が進んでいない。授乳室で搾乳が出来ることを示す「搾乳マーク」を設置する考えは。

A 本市では、出産や子育て支援の充実を重要な施策として考えている。

本庁舎、保健センター、シビックコアに搾乳マークを設置するとともに、事業所や商業施設においても授乳、搾乳がしやすい環境の整備が進むよう啓発活動や情報提供に努めていく。



市役所内の「授乳室」と「搾乳スペース」

子どもが輝く未来の学校目指して

Q これまでの「そろえる教育」から「伸ばす教育」へ、一人一人、それぞれの可能性を最大限に開花させる教育への転換が急務であるとする。本市の総合的な学習の現状と課題は。

A 本市では総合的な学習を「未来いなべ科」とネーミングして探究的な学習のねらいや趣旨を目標に据え、学校や学年の状況に応じた取り組みを進めている。課題は、「未来いなべ科」のさらなる質の向上をめざすこと。

Q 渋谷区の例として、午前中は教科学習に、午後は探究的な学習に取り組んでいる。取り入れる考えは。

A 渋谷区の取り組みを、市として押しつけるのではなく、それぞれの学校が最善だと思うような教育課程を編成することが大事と考える。



いなべ市温水プールの運営を問う

答／市民要望は月1回改善策等を検討

Q 施設利用に関し、市民からの要望や苦情は。

A 要望や意見は、月1回情報共有し、適宜改善策等を検討。

Q プールの利用料金が高いという声を聞くが、健康づくりを目的とした施設という観点から利用料金を下げて、多くの方に利用してもらうほうが良いのでは。

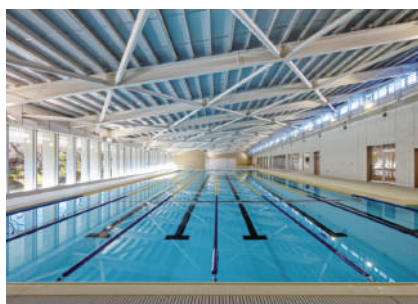
A 回数券や定期券を案内し、理解をしてもらっている。

Q 議会にも報告のないまま、大人700円、子ども500円という料金設定でオープンした。条例に定める上限額以内の料金だが、市が承認する時高いという認識はなかったか。

A 条例に定める上限額以内の料金であるので、業者の運営も考え承認した。

Q 海津市市民プールは小中学生（市内）100円、大人（市内）310円、いなべ市は子ども5倍、大人約2倍である。市民がもっと使いやすいよう割引の補助をしては。

A 指定管理での運営であることや、国の補助金の関係でできない。



温水プール（いなべ市HPより）

道路の維持管理にもっと予算を

Q 市内では経年劣化に伴う道路を多くみかける。野遊び事業に約20億7,800万円、宇賀溪に約8億8,000万円。キャンプ場整備に約30億円の費用をかけるのであれば、市民のニーズにも耳を傾けて、市内の道路の維持管理にも十分費用を費やしては。

A キャンプ場は山沿いの活性化も考えて国の補助金を活用した事業。



豊かな自然で森林セラピー基地へ

答／自然を活用した事業を多く実施中

Q 全国では「森林セラピー基地」の認定を受け、森林・自然・歴史探索などを住民の健康増進や地域おこしに役立てている所がある。観光資源の開発、弁当食材調達のため農業者や飲食店との連携、森の案内人の養成、メンタル対策として企業研修の受入れ、林道・広場の整備などを行政・観光協会・商工会と連携して、健康、生きがい、収入につながる市民活動を行っているが、森林活用のまちづくりは。

A 森林の自然環境は健康、心身のリラックスに貢献するが基地としての計画はない。森林の整備ができ観光、心身の健康にと喜ばしい。移住定住、企業誘致に広がるチャンスと捉える。

Q 市は“木育”のイベントを行い大盛況であった。木のおもちゃを市内で作ったり森のおもちゃ美術館で遊んだりするのはどうか。

A 旧大安庁舎に木育キャラバンのような子育て支援複合施設を計画中。令和7年中に木のおもちゃの試作を予定。

Q 「いなべる」、元気クラブで自然を活用しているか。

A 多く取り入れている。令和7年度は合同開催で実施。

Q 子どもの成長に体験ほど大切なものはない。子どもたちへの教育・保育は。

A 体験は子どもたちの未来に非常に良い影響を与える。「架け橋プログラム」でこども園と小中学校をつなぐ取り組みをしている。



石樽小峠にて、キブシの花穂に出会う



特別養護老人ホームの建設は

答／検討はしている

Q 第8期介護保険事業計画では、入所待機者が横ばいの状態であり解消を図る必要があると書かれていた。また、令和3年6月議会で担当部長は、保険給付の状況及び市民ニーズを分析し、また近隣市町の施設、施設利用状況を踏まえた上で、将来的に施設建設を検討する必要があると答弁している。施設建設についてどのように考えているか。

A いろいろと検討はしている。ただ、市が計画を立てたからすぐに建てられるというものではなく、施設を北勢地域で建てるという事業所がないと実現には至らないので、各事業者とも相談をしながら進めていきたい。

豪雨による土砂災害防止対策等を問う

Q 農林水産省の山地災害リスクの評価法として、地質、災害履歴等とあわせて現地での確認作業がある。令和6年第2回定例会で、ドローンの活用については、建設部では道路河川災害や土石流発生時の現地確認などに活用すると答弁している。ドローンの活用はされているのか。

A ドローンを飛ばして調査するということは行っていない。

Q 住民にきちんと説明をし、安心を与えるためには、ドローンを活用して、現地の状況を見せることも大事だと思うがどうか。

A 農林整備課が治山に関係しているので、担当課と相談してやれるかやれないかを確認する。



藤原鉾山採石場をドローン撮影（2018年5月）



放課後などの子どもの居場所は

答／空き教室の活用を検討する

Q 保育サービスについて、保育士不足で子どもを希望する保育園、または預けたい時間に預けられないなど、安心して子どもを預け、働くことができない。未来の子どもたちのため、子育てしやすい環境整備を求めるとい声がある。市は今後どうしていくか。

A できるだけ子育てしやすいまちづくりに努めたい。

Q 「子ども・子育て支援事業計画」の放課後児童クラブの拡充を求める意見には、改善を前向きに検討する、と記載されているがどうか。

A 民設民営であるため、運営委員会で希望を言って協議してもらう。

Q 近隣市町よりも子育てしにくく、女性や子育て世代が我慢するまちとなっている。できない理由ではなくできるように考えてほしい。

A 長期休暇、放課後の子どもの居場所については、空き教室などの活用を検討していく。

Q 過疎地域に定住してもらうため、定住を支援する補助金を求めるが、市の考えは。

A 空き家バンクや地域おこし協力隊など国の制度を積極的に活用している。



第3期いなべ市 子ども・子育て支援事業計画

令和6年度 いなべ市議会 政務活動費 収支報告

(令和6年4月～令和7年3月)

会派名	いなべ未来	新風いなべ	創風会	新生つばさ	日本共産党 いなべ市議団	政和会
所属議員 項目	林 正男	片山 秀樹	清水 隆弘	渡辺 一弘	衣笠 民子	西井真理子
	位田まさ子	多湖 公	伊藤 智子	伊藤 三保	岡 恒和	
	岡 英昭	篠原 史紀	小寺 徹翁	原田 敬司		
	小川 幹則	出口日佐男				
	寺輪 博樹					
交 付 額	1,800,000	1,440,000	1,080,000	1,080,000	720,000	360,000
調査研究費	516,322	658,000	303,725	293,495	26,400	19,261
研 修 費						
広 報 費	384,433	497,310	650,017	637,582	149,171	339,504
広 聴 費						
要請・陳情活動費						
会 議 費						
資料作成費		24,354		27,016		
資料購入費						
人 件 費						
事 務 所 費	108,350			107,910		
支 出 額	1,009,105	1,179,664	953,742	1,066,003	175,571	358,765
返 納 額	790,895	260,336	126,258	13,997	544,429	1,235

※ 政務活動費「交付額」は、基準日（各月1日）における当該会派の所属議員数に月額30,000円を乗じて得た額。

議員表彰

全国市議会議長会および東海市議会議長会より、市議会議員として25年市政の発展に尽くされた功績を称えられ、林 正男議員が表彰を受けました。



全国市議会議長会表彰状



東海市議会議長会表彰状

いなべ市議会議員政治倫理審査会 審査結果

審査請求書の提出により、いなべ市議会政治倫理規程に基づき、2件のいなべ市議会政治倫理審査会を設置し、対象議員がいなべ市議会政治倫理規程に抵触しているか否かの審査を行いました。審査を経て審査結果報告書を提出し、措置案を議会運営委員会に諮り、措置を講ずることが決定されました。

審査会

①

【令和7年3月10日設置】

審査対象者 伊藤智子議員

審査の対象となる事由の該当条項 第3条第1項第1号、第2号、第4号

審査請求の対象となる事実関係 令和6年度にいなべ市国際交流協会が実施した「タスマニア派遣研修事業」の予算要求及び一連の活動に大きく影響したこと

措置の内容

- いなべ市議会政治倫理規程を遵守させるための文書警告
- 議会における役職の停止

審査会

②

【令和7年4月11日設置】

審査対象者 小川幹則議員

審査の対象となる事由の該当条項 第3条第1項第1号、第2項

審査請求の対象となる事実関係 公職選挙法違反の疑いが強い一連の行動に関し、いなべ市議会へ直接市民（匿名）から3件の告発があった。自ら説明責任を果たさず、むしろ「怪文書」として問題を矮小化する対応をとった。

措置の内容 議員の辞職勧告

議会の対応について

令和7年6月5日全員協議会を開催し、2件の政治倫理審査会の審査結果報告を受け、今後同様の事案が議会で発生しないよう、あらためて議員一人一人が議員の自覚と議会の役割について再確認しました。

1 公職選挙法を厳守した議員活動「贈らない・求めない・受け取らない」

政治家が選挙区内の人にお金やものを贈ることは、公職選挙法の規定により禁止されている。有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されている。

2 市長（市職員）と議会（議員）の関係

議員は議決権を持つことから、市長をはじめ市職員に相談も含め要望事項を働きかけることは、職員及び市民に大きな影響を及ぼすことを自覚する。

3 地方自治法、いなべ市議会基本条例、いなべ市議会行動計画などに基づいた議会及び議員活動の再認識

4 市民相談への対応

市民からの相談、要望等について議員は「つなぎ役」に徹する。地域の中では、地域の代表者の役割を尊重し、議員が存在する地域と存在しない地域での不均衡にも配慮する。

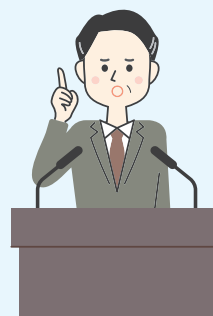
5 市民活動団体との関係

まちづくりに対する強い思いを持った団体から相談を受ける場合、議員は担当する窓口、機関などを紹介することに徹する。市から事業を受託する団体との関わりについては、より一層の注意を必要とする。



※政治家本人が結婚祝香典、葬式などに自ら出席してその場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

出典：総務省 広報誌（令和3年12月号）
「三ない運動」をご存じですか」



いなべ市議会

議会報告会

4月20日(日)、23日(水)、24日(木)、26日(土)

4会場で開催し、延べ52名に参加いただきました。

令和7年3月定例会の報告を行い、「公共交通」および「防災」について意見交換会を行いました。
たくさんの貴重なご意見をいただき、有意義な時間を共有しました。

いただいたご意見から

「公共交通」について

- 福祉バスの運行本数の増加を（土日祝日運行を）
- 利用者が少ない福祉バス路線の見直しを
- 民間や企業とデマンドタクシーの活用を
- 冷暖房が完備された福祉バス待合室がほしい
- 福祉バスと電車の乗り継ぎの不便さ
- 北勢線の存続について不安 など

「防災」について

- 市民に防災士を増やすために、防災士取得の補助を
- 自主防災組織の育成が進んでいない
- 防災意識の低い人へのアプローチが必要
- 「防災」「災害時」に関する市のホームページをわかりやすくしてほしい
- 避難場所の安心できる環境整備が必要 など

ご意見は、今後の所管事務調査に役立てます



令和7年6月定例会の議会報告は動画で配信しています。

市民と議会、ちゃんと向きあえてる!? ～聞かせて！市民のホンネ～

日 時 令和7年10月4日(土) 14:00～16:00 **場 所** 市役所 シビックコア棟 2階

議員任期満了(令和7年11月)を迎えるにあたり、これまでの議会活動のご報告をさせていただきます。
また、今後の議会に対する皆さまのご期待やご意見をお聞かせください。
どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。
詳しくは、市議会ホームページで随時お知らせします。

いなべ市議会だより 表紙写真募集

市議会だよりをもっと身近に感じていただけるよう、皆さまから表紙写真を募集します！
受付締切 9/19(金)

掲 載 日

令和7年11月1日発行 いなべ市議会だより第87号

募集内容

いなべ市内で撮影された風景、祭り、学校行事、地域行事、各種イベントなど、いなべ市の「今」を映し出す写真

募集条件

写真は、次のいずれにも該当するもので、1人1回につき2～3枚まで応募できます。

- 1 応募者本人がいなべ市内で撮影したもの
- 2 概ね1年以内に撮影されたもの
- 3 未発表・オリジナル作品であるもの
- 4 1枚のサイズが5MB以下のデジタルデータ（JPEG形式）で提供できるもの
※被写体が鮮明に確認できないものは採用しません。
※紙面のレイアウトの都合上、横写真を推奨します。
- 5 人物が写っている場合は被写体が特定されないもの
※イベント等で多数の被写体が撮影されている場合は、個人を特定されない風景写真とみなします。

応募方法

応募方法は次の2通りあります。

1 メールによる方法

応募申込書に必要事項を入力し、写真データと併せていなべ市議会事務局
(gikai@city.inabe.mie.jp) にメールで提出してください。

※応募申込書はホームページからダウンロードできます。

※ダウンロードや入力ができない場合は、メール本文に必要事項（氏名、住所、電話、撮影時期、撮影場所、タイトル）を記載してください。

2 応募フォームによる方法

専用応募フォームから必要事項を入力し、写真データを添付し送信してください。



応募フォームはこちら

注 意 事 項

- 1 応募写真に関する著作権、肖像権等のトラブルが生じた場合、応募者の責任と負担で解決するものとします。
- 2 採用の発表は、採用された応募者への通知をもって発表にかえます。
- 3 必要によりトリミング等の画像編集を行います。

クイズ

問1 6月定例会で賛否が分かれた議案は議案第〇〇号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算(第2号)。

問2 議会報告会の意見交換会のテーマは「防災」と「〇〇〇〇」。

問3 市民と議会のフォーラムは何月何日でしょうか。
〇月〇日

〇を埋めてください。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りいただくか、下記の二次元バーコードからご回答ください。正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

あて先 511-0498 いなべ市北勢町阿下喜31番地
いなべ市議会 議会事務局

締切日 令和7年8月29日(金) <当日消印有効>

※ 応募いただく「はがき」のスペース(空白)に「議会だより」や「議会」に対するご意見や感想をお聞かせください。次号で紹介させていただきます。

※ 応募いただいた「はがき」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

※ クイズの答えは次号で掲載します。また、当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。



応募フォーム

お詫びと訂正

令和7年5月1日発行いなべ市議会だよりの記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

P9 議案第24号 令和7年度一般会計予算
【誤】 全会一致で可決 【正】 賛成多数で可決

編集後記

猛烈な暑さが続き、夕立が恋しい今日この頃ですが、体調はいかがでしょう。年々暑さの度合いが増してきているように感じるのは、私だけでしょうか。

さて、皆さまからのご要望にお答えするため、前号から一般質問の文字数を550文字から500文字に減らし、文字を大きくしました。お気づきになりましたか。

また、いなべの今を映し出した写真で表紙を飾るため、写真を募集します。

今後も市民目線で、わかりやすく情報をお届けできるよう、工夫を続けてまいりますので、ご意見・ご感想をお待ちしております。

9月定例会について(予定)

◆開会日	9月 2日(火)
一般質問	9月 9日(火)
	9月10日(水)
総括質疑	9月12日(金)
予算決算常任委員会	9月12日(金)
総務経済常任委員会・分科会	9月17日(水)
都市教育民生常任委員会・分科会	9月18日(木)
予算決算常任委員会	9月26日(金)
◆閉会日	9月30日(火)

インターネット配信



中継配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp



録画配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM(86.1MHz)で議会の録音放送を聴くことができます。

詳しくはいなべ市ホームページにてご確認ください。

議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。

受付場所：いなべ市役所議会棟2階

SNSの配信

市議会の情報を配信しています。



ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。

設置場所 市役所 行政棟1階(正面玄関付近)

市役所 議会棟1階(入口付近)

市役所 議会棟2階(傍聴席入口付近)

いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地

TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872

<https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>

